

公表

事業所における自己評価結果（児童発達支援）

事業所名		公表日				
だんけ石切		R7年 3月 1日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	☐		1階の駐車場スペースを使用するので、より広く支援室を活用できる。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	☐		構成人員以上の職員をそろえて、場合によっては利用者の特性に応じて複数の職員が対応できるようにしている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	☐		階段では危険が無いように寄り添った支援をしている。物の位置はカードなどで分かるように固定化している。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	☐		毎日、終了後に掃除をしている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	☐		レッスンでは利用者に確認して部屋割りをしている。自由活動でも利用者がやりたいことに合わせて場所を自由に活用できる。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	☐		ミーティングや連絡で、意識することを伝えて話し合っています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	☐		評価は匿名で郵送にしてもらって意見を発信しやすいようにしている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	☐		連絡は密にとり意見を取り入れるようにしている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		☐		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	☐		月1回の事業所内研修を行っている。 外部研修は機会があれば参加する。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	☐			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	☐		ニーズや問題点などの聞き取りを行い検討・作成している。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	☐		週一回、計画作成の会議を開き、検討している。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	☐			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	☐			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	☐			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	☐		週一回、計画作成の会議を開き、検討している。	

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	☐		利用者各々に合った内容にしているので、固定化するメリットがある場合は固定している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	☐		ことば音楽療法のレッスンでもやり取りを増やしたい時はグループレッスンを取り入れている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	☐		大切なことは適宜伝えて支援にあたっている。レッスンではメインとサブの講師で事前に行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	☐		日誌に特記事項を記載している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	☐		サービス実施記録を取り、保護者に渡している。日誌の記録で改善につなげている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	☐			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	☐			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	☐			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	☐		会議や相談支援を通じて行っている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	☐		必要時には行っている。	
	28	(28～30は、センターのみ回答)	☐			
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	☐			
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	☐			
	31	(31は、事業所のみ回答)	☐		事業所連絡会に参加している。 研修の機会が合えば参加している。	
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	☐			だんけまつりにご近所等の地域を招待しているが、機会としては少ない。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	☐		レッスン後や送迎時に伝えている。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	☐		自立訓練事業の学習会を開催した。 障害特性、性教育などを周知した。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	☐		契約やモニタリングの機会に行っている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	☐			

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	☐			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	☐			
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	☐		回数は少ないが学習会などを設定している。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	☐			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	☐		毎月、だんけ通信を発行している。 Instagramでの活動紹介や、LINEでの個別連絡も取り入れている。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	☐		研修会も行っている。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	☐		絵カードで視覚支援、短い言葉で伝えるなどわかりやすい伝え方を心がけている。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	☐		だんけまつりをしている。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	☐			今後、マニュアルの周知を図っていく。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	☐		できるだけ利用者にも参加してもらって避難訓練をしている。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	☐		アセスメントで確認している。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	☐		必要に応じて行うが、現在は対象となる利用者がいない。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	☐			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	☐			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	☐			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	☐		虐待防止委員会を年2回行っている。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	☐		身体拘束適正化委員会を年2回行っている。	

公表

事業所における自己評価総括表（児童発達支援）

○事業所名	だんけ石切		
○保護者評価実施期間	R6年 11月 1日 ～ R6年 12月 31		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	6 (回答者数)	4
○従業者評価実施期間	R6年 12月 1日 ～ R7年 1月 31日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7 (回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 2月 13日		
			6

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	自由活動とレッスンの形式があり。	曜日固定ではあるが希望の形式が選択できる。 レッスンでは個別とグループの構成があり、個々の課題に合わせたレッスンをする。	自由活動にことば音楽療法の要素をさらに取り入れて効果的に活動したい。
2	立地条件	活動室が2階で1階がピロティ（柱だけで吹放ちの空間）になっているので雨の日でも屋外が利用できる。また駐車スペースも活動に利用できる。 近所には公園や石切神社がある	アコーディオン門扉で飛び出しを防ぎ、自由に動ける環境を整えている。長期休暇で活動時間が長いときは敷地内でプールや水遊び、近所に出かけるなど健康的な取り組みができる。
3	設定を設けない	平日の自由活動ではおやつ時間以外は設定をいないようにして遊びでも自己決定ができるようにしている。	自己決定が難しいときは日ごろの様子から好きそうな遊びを職員から誘ったり、お友だちがしている遊びに誘うようにしている。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	階段がありバリアフリーではない	身体に不自由があると利用が困難。 危険があるため、利用者だけで自由に移動できない。	職員で可能な介助は行う。 1階と2階に別れており気持ち切り替えのきっかけにもなるので場面切り替えとして階段を有効活用する。
2	地域との関わり	関わりが少ないので地域との交流機会を持ちにくい。	地域で活動されている行事などを探していき、活動に参加ができるようにしていく。
3	職員の年齢構成	大学生職員が少なく、利用者がお友だち感覚で接することが難しい。以前は学生職員の割合が多かったがコロナ以降はつながりが断たれつつある。	学生職員の募集による増員

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果（児童発達支援）

事業所名 だんけ石切

公表日 R7年 3月 1日

利用児童数

6 名

回収数

4 名

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	4					
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	4					
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	4				2階へのエレベーターはない。	構造化、設置はできません。 介助が必要なときは職員が手伝わさせていただきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	4					
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	4					
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	4					
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	4					
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	4					
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	4					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	4					
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	3		1		イベントを実施されています。	イベントでお出かけをしたり、だんけ祭りで地域への告知をしています機会としては少ないです。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	4					
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	4					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	3		1		就学説明会を年中で紹介して頂き、余裕を持って勉強できてよかったです。	
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	4				サービス実施記録に日々詳細に記録されており、わかりやすいです。	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	4				都度、相談に乗って頂いてます。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	4					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3	1			父母の回等は特にないが、必要だとも思われない。	次年度は保護者が集まる機会を設けていくようにする予定です。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	4				相談希望時は、しっかりと時間を取ってください。	
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	4					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	4					
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	4					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	4					
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	3			1		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	4					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	4					
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	4					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	4				本人も楽しんで通っています。 特に10月～「明日だんけ？」とよく言っています。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	4				いつもお世話になっています。 機嫌よく帰ってきてくれて助かっています。	